

団体・事業者ヒアリング結果のまとめ

(1) 調査の実施

日頃から障がいのある人と関わりのある活動に取り組むボランティア団体や当事者団体、サービスを提供している事業所に対し、“ワークショップ”形式によるヒアリングで現状の課題や改善策について話し合いました。

“ワークショップ”でのテーマは、障がい者の一生について考えてもらうために、3グループを編成し、グループごとにテーマを設定しました。

全体テーマ 【障がい者が生まれ育った地域で暮らしていくために】

Aグループのテーマ：【児童への支援方法について】

Bグループのテーマ：【就労支援について】

Cグループのテーマ：【親なきあとの支援について】

(2) 調査（ワークショップ）の実施

①実施状況

開催数	開催日	時間	場所	参加人員	内容
第1回	平成26年 8月1日（金）	午後1時30分から 午後3時30分	ながくてエコハウス 多目的室	17名	テーマごとの課題抽出
第2回	平成26年 9月5日（金）	午後1時30分から 午後3時30分	ながくてエコハウス 多目的室	12名	課題に対する改善策検討

②出席団体・事業者

区分	団体名	区分	団体名
住民団体	ほっとクラブ	事業者	社会福祉法人あいち福祉会たかぎ作業所
	希望の会		特定非営利活動法人楽歩
	ウエンディの箱		社会福祉法人むそう
	ゆび話の会		株式会社フォルツァ
	要約筆記長久手		特定非営利活動法人百千鳥
	愛知県立大学		愛知たいようの杜ヘルパーステーションひだまり
		ヘルパーステーションあんのん	

(3) 団体ヒアリング（ワークショップ）の結果について

①Aグループ：【児童への支援方法について】の課題と改善策

<課題>

長久手で生まれ育った子ども（障がい児）が地域で暮らしていくために <<児童への支援方法について>>

【本人の支援】

- できることをふやしてあげたい
- 障がいがあってもなくても同じ経験ができる
- 外出方法（自家用車以外）
- 興味、関心が広がるのが難しい
- 虐待 お父さんとお母さんが私をいじめめる…。ご飯が食べれない…。
- 医療ケア
- 病気になった時の預け先

【親の支援】

- 情報がない
- 学校はどうしよう。登校下校。
- 働かないと生活もできない。本人の支援もあるしどうしよう
- 健診後の不安解消は
- 発達が遅いといわれた。どうしたらよい？
- 保育園もダメ、幼稚園もダメ。どうしよう…
- 相談相手
- 母親教室での障がい認知
- 福祉サービスって何？

【環境】

- 交通機関
- 居場所（不登校）
- 校区ごとに支援が違う
- 友だち（障がい理解）
- 遊び（よか）
- フリースクールがない。設立を！
- 日中活動
- 児童の面倒に一般人を活用
- 学校に先生以外に専門的な支援のできる方は…。

【きょうだい支援】

- 兄妹のことも世話しなきゃ…。時間がない…。

【希望の会】

- 同じように悩んでいる人がいるなら…

【行政支援】

- 市町によって受けられるサービスが違う
- 個人情報。困った人をどうやって見つける。

【将来】

- 進学。小、中、高→大
- 大人に向けて卒業後はどうしよう



<改善策>

長久手で生まれ育った子ども（障がい児）が地域で暮らしていくために
 <<児童への支援方法について>>

【医者（病院）】

- 母親教室で障がいの認識する機会を作る
- 親の認識 出産前クリニックでの情報提供
- 保健センターなどで体験談を聞く機会を作る
- 父母親教室 各障がいの為の積極的な講習会の開催
- 教育総務課・子育て支援課・福祉課・社協との連携をとる

【地域の中に小さいコミュニティ】

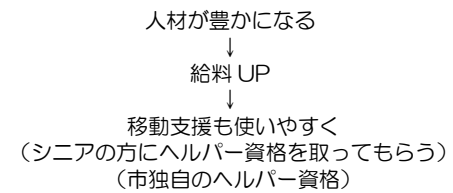
- (各) 地域の出張すぎの子教室をやる
- 共生ステーションなどでの専門家配置（いつでも相談）
- 停退職者、子育て卒業者によるフリースクールの設立制度を抜きにしたボランティア的自由発想学校。自由に遊ばせる！
- シニアステーションを各校区に設立し、マンツーマンでの児童支援を行う。例えば、共生ステーションの利用者（親の支援も含め）
- 発達支援室の解説⇨児童発達支援センター 社会資源なし
- 乳幼児期からの働きかけとして何が出来る？

【質が上がれば解決】

- 事務所スタッフの質向上勉強会
- 市内の学校の支援級で症例を含めた勉強会をもっと開催する
- 学校単位での専門講習・研修 カウンセラー配置
- 健常児の為の障がい理解の話し授業

【本人 社会資源が増えれば解決】

- <現行サービスで解決につながる>
- 相談センター 市内に一か所
 - 児童館 小学校区に一つ
 - 学童保育 小学校区に一つ
 - 移動支援 社会資源 [少] 使いにくい
 - 短期入所 社会資源 [少]
 - 居宅介護 社会資源 [少]
 - 放課後デイサービス 社会資源 [少]
 - 日中一時 社会資源[少]
 - 当事者団体（希望の会）



【障がい認知を広げる支援】

- 障がい程度によるが、ホームステイ制度を試みたらいい。受け入れ側の要研修
- 社会資源マップや紹介カード等のコンビニでの配布

児童発達支援センターの開設

共生ステーションとシニア層の活用

移動支援等の見直し

連携すれば

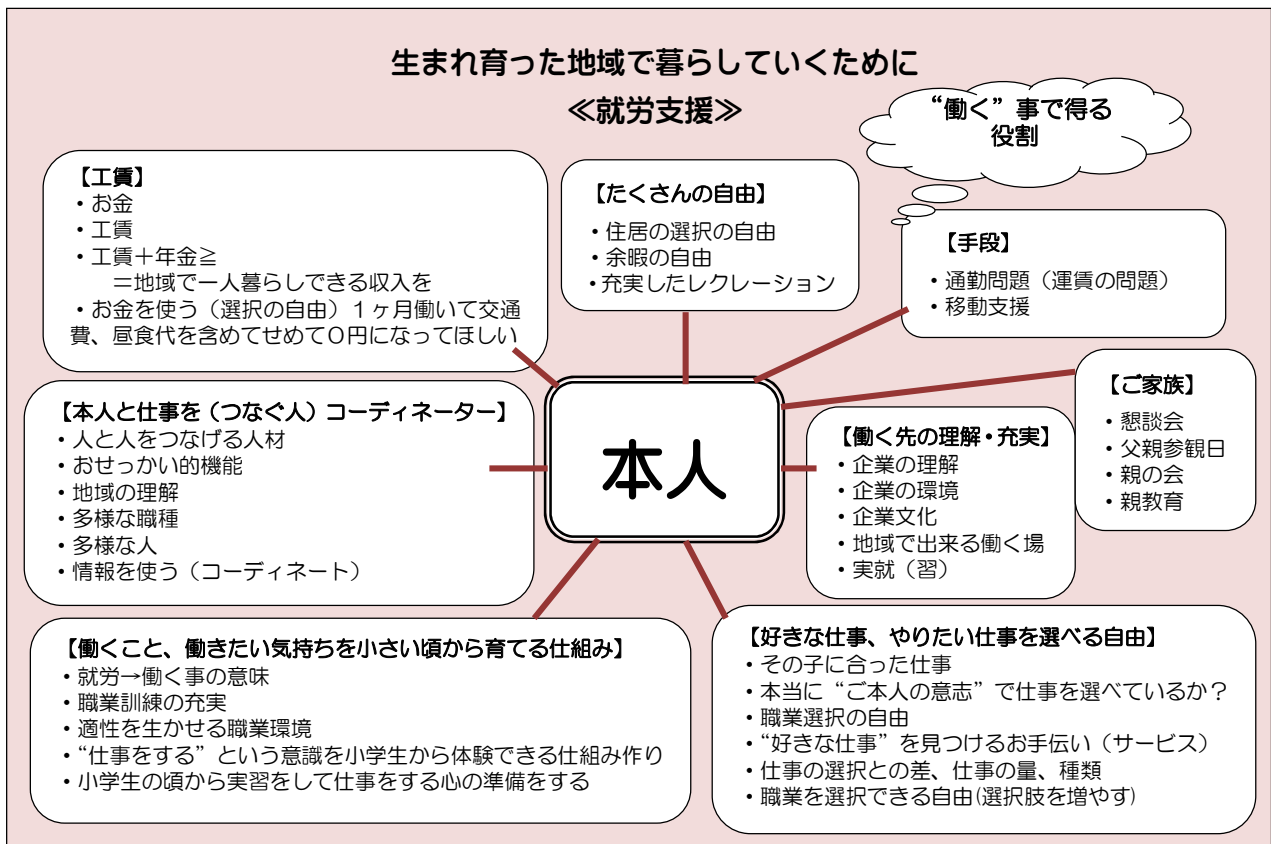
解決

市独自の任用資格

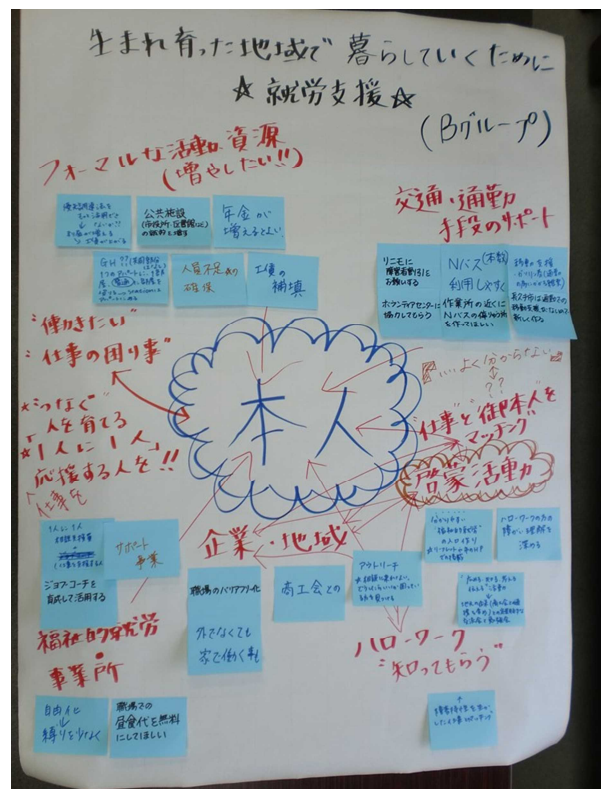
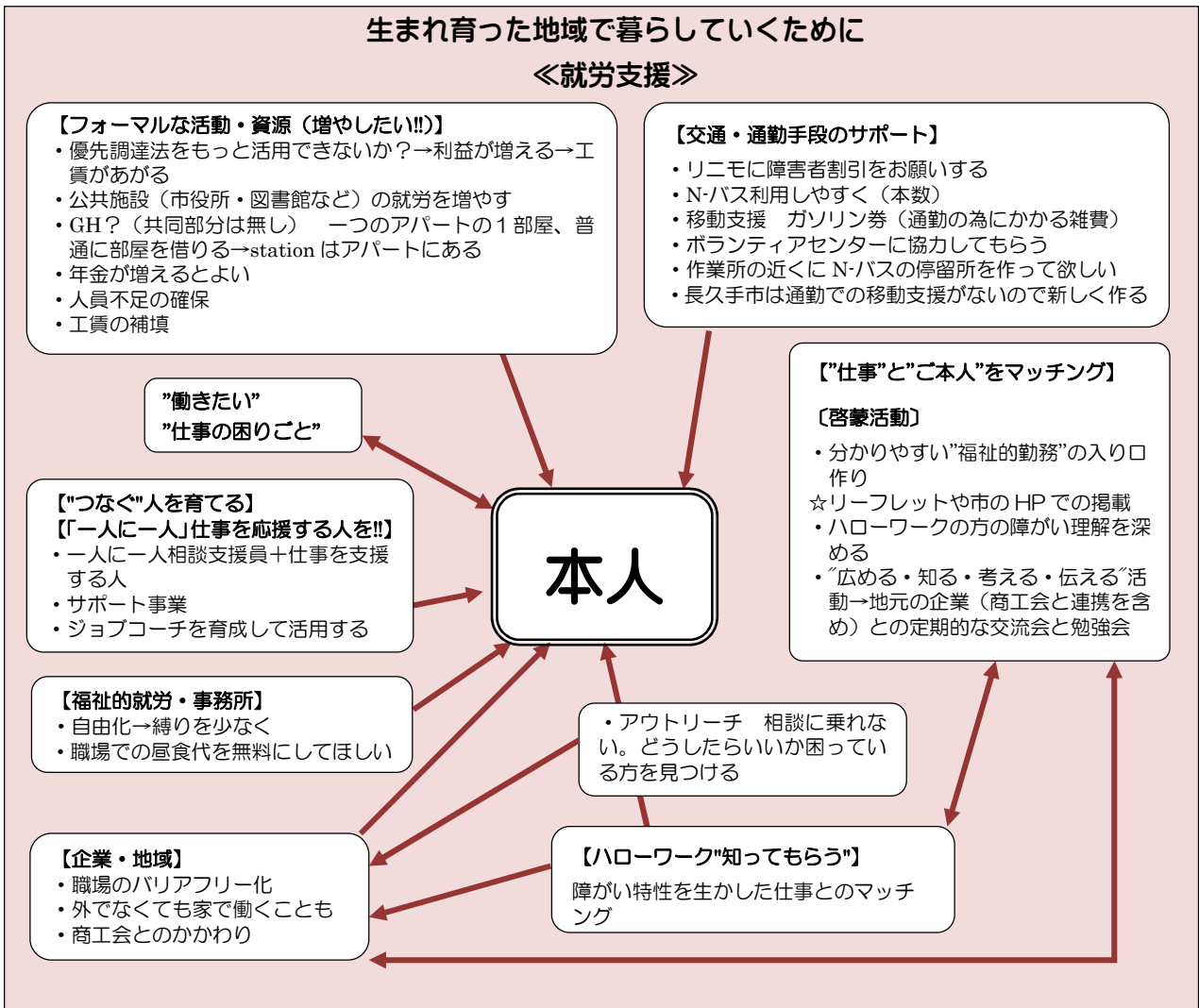


②Bグループ：【就労支援について】の課題と改善策

<課題>



<改善策>



③Cグループ：【親なきあとの支援について】の課題と改善策

<課題>

障がい者が生まれ育った地域で暮らしていくために
 <<親なきあとの支援について>>

【24H365日支援】

- ・高齢の方と障がいのある人や若者、学生とのシェアハウス?(お互いウマがあう)
- ・援助が必要な人は施設しかない?
- ・医療処置が必要となった時、看護師が訪問するが、看護師不足の状況の中、適切・適正な処置を受けることができるか?
- ・重度の人は自宅で生活できない?
- ・身体(特に重身)に障がいがある人でも、サービスを24H/365日利用しながら生活できる地域。(他の障がいも同様に)

【人のつながり】愛想よく!!

- ・近所づきあいのコーディネート?
- ・本人と他人をつなぐ人の存在が必要(だれ?)
- ・知り合いをつくっておく
- ・人の縁をつないでおく
- ・こころの拠りどころになれる人?親友?孤独感を無くすために
- ・児童から大人になっても安心して住み続けられるよう、サポートできる一貫した支援のある地域(児童相談~成人相談)
- ・地域の人とも自然に関わりあって、生活していく地域(自治会、地域行事等)→防災の観点からも
- ・愛想良く生きていこう!!

【地域の理解】

- ・ノーマライゼーション社会になれば良い
- ・障がいや差別(虐待)の理解を深める。☆啓発
- ・近所に障がい者がいてもわからない
- ・(地域の支えを得るために)地域に存在を知ってもらえているか?

看取りは誰が?

【わかるけどほっとけないぞ】

- ・ひきこもりの人に対するアプローチ?
- ・おせっかいなおばさんに
- ・相手が隠したいと思っている場合どう接していくのか

【ちょっと支援があれば…】

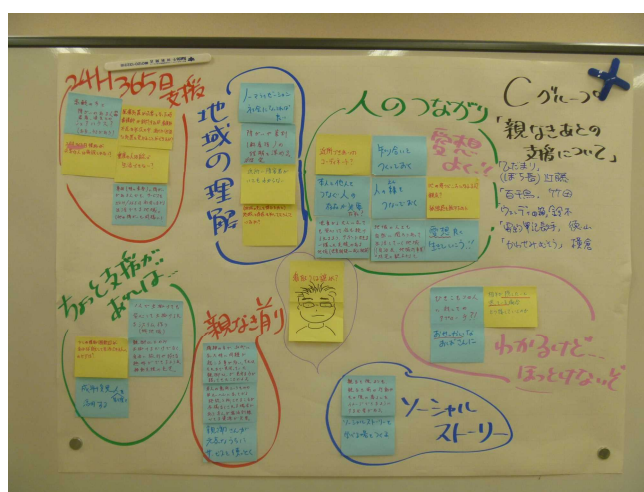
- ・少しの援助(複数日)があれば、自立して生活できる人へのケアは?
- ・成年後見人制度を活用する
- ・1人で出掛けても安心して出掛けられるシステム作り(地域)
- ・親御さんとのみ出掛けるだけでなく、自由に旅行や好きな趣味ができるような移動支援の充実

【親なき前】

- ・精神の方で、50代になった時に問題が起こる事が多い。それは、それまで見守っていた親御さんが見守る力が弱ってきたことによる。本人の意向というものの、大変になってから施設入所させることが、余儀なくされる場合がある。本人が宿泊訓練できる資源が必要。
- ・親御さんが元気なうちにサービスを使っとく

【ソーシャルストーリー】

- ・親なきあとよりも親なき前の行動がその後の暮らしをイメージできるようにする必要がある
- ・ソーシャルストーリーを学べる場をつくる



<改善策>

≪『親なきあとの支援』について≫

【24H365日を支える仕組み】

- ・定期巡回訪問介護を（定額で24H365日ヘルパー支援）利用できるように
- ・24H365日を支えるマンパワー養成（市主催の福祉人材養成）

【一般の人が参加したいと思うイベント！】

【一般の人が集まる所に出向く】

- ・人が集まる所へ（コンビニ・地域の祭りとか）
- ・ふれあい訪問活動（行政・当事者・支援者のチーム）家族会
- ・福祉まつり エグザイル SKE
- ・幼・保・小・中・高・大学・企業などの講習会の開催
- ・福祉まつりに障がいのある人に参加してもらう（知っている人に声かけ）
- ・当事者とボランティアでつくる支え合い事業
- ・災害対策を通じて接点を持つ
- ・経験を作るサポート（移動支援 福祉有償運送）
- ・一般 違う興味知る24H テレビ 101km 走る
- ・市内の企業・高校などと協力して取り組む

【成年後見制度の活用・周知】

- ・分かりやすい情報提供を
- ・分かりやすく書いたもの（見やすいもの）
- ・寸劇
- ・制度をもっと活用！ 市長申し立てを増やす（5人くらい）
- ・コミュニケーション障がいの方に情報がきちんと届くように
- ・聴覚障害の方が相談しやすい仕組み

【支援者のつながり】

- ・関係機関のつながりを強くする→定期的なミーティング

【住まいのサポート】

- ・支援寮を作る 一緒に暮らして日常生活を手助け→家具安い
- ・グループホームの設置
- ・生活習慣を訓練する施設 チャレンジホーム 宿泊型自立訓練

